

# 緊急事態発生時の対応 (災害発生時とテロ等政情不安時)

在北マケドニア日本国大使館

令和7年2月14日

# 災害発生時の避難場所について

- 救助活動は北マケドニア危機管理センター(CMC)が担当
- 避難場所もCMCが指定
- 学校やスポーツ施設などが主な指定場所
- 災害の状況により避難場所が変更される可能性あり

# 災害備蓄品の供給体制

- 国が備蓄品を準備し、食料庫から各避難所へ配給
- 周辺国と二国間協定を締結しており、災害時の支援体制あり
- 食料等の支援が期待できる

# 自宅での災害対策

- 最低1週間分の備蓄を準備
- 食料品・飲料水
- 衛生維持のための水(手洗いや生活用水)
- 簡易トイレ・廃棄物用袋
- 非常用持ち出し品(リュックサック・スニーカー・懐中電灯・帽子・手袋など)

# テロ等政情不安時の備え

- ・家族同士の連絡手段を決める(電話・メッセージアプリなど)
- ・自宅以外の集合場所を決める(緊急時の避難先を事前に確認)
- ・自分の状況を家族に伝える
  - ・安全かどうか、怪我の有無、現在地

# 日本大使館ができること・できないこと

-  できること
  - 邦人の 安否確認・居場所確認(メール・電話)
  - 本人と連絡が取れない場合、医療機関や政府機関と連携して情報収集
  - 最低限の 食料品の提供
-  できないこと
  - 災害現場での搜索活動
  - 宿泊施設の提供
  - 移動手段の確保

# 緊急事態発生時の安否確認方法

- 大使館があらゆる手段で安否確認を実施
  - メール・電話・メッセージを送信する可能性あり
- 大使館の電話番号を登録(+389-2-3118-063)
- 館員の携帯電話からも連絡する場合あり
- 安否確認は在留届の情報をもとに実施
  - 連絡先が変更になった場合は必ず更新すること

## 退避先の確保と移動手段の検討

- 北マケドニアで滞在が困難になった場合に備える
- 退避先を事前に検討(周辺国・日本への帰国など)
- 退避先への移動手段の確保(交通手段の選択肢を考えておく)

# まとめ

- 災害発生時の避難場所と備蓄品の確認
- 自宅での備え(1週間分の食料・水・必需品)
- テロ・政情不安時の行動計画を家族で決める
- 大使館の連絡先を登録し、安否確認に協力する
- 退避の可能性を考慮し、移動手段を検討する

# 💡 事前の準備と情報更新が安全確保のカギ！

参考資料

北マケドニア保護救助局HP 防災ガイドライン掲載(マケドニア語資料)

<https://www.dzs.gov.mk/instructions>

